

おひさま通信

第37号



会の活動報告

<http://homepage3.nifty.com/ohisama/>

- 1月23日 第4回発達障害児等支援体制検討会 栃木県職員会館ニューみくらにて
- 1月24日 おひさまサポートプログラム第8回 大平町ゆうゆうプラザにて
- 2月 4日 平成15年度人権教育推進リーダー研修講師 大平町隣保館にて
- 2月 7日 第24回理事会
- 2月18日 県央地区定例会 とちぎ福祉プラザにて
- 2月19日 県南地区定例会 大平町ふるさとふれあい館 学習室にて
- 2月28日 おひさまサポートプログラム第9回 大平町ゆうゆうプラザにて
第25回（臨時）理事会
- 3月 6日 ママの会
- 3月11日 マリンバコンサート打ち合わせ（栃木・大岩藤地区）
- 3月13日 次年度おひさまサポートプログラム説明会 大平町ゆうゆうプラザにて
第26回理事会
- 4月 3日 おひさまサポートプログラム第10回 大平町ゆうゆうプラザにて
第27回理事会
- 4月17日 第28回理事会
- 4月24日 第5回定期総会 大平町ゆうゆうプラザにて

今後の予定

- 5月 9日 マリンバコンサートinとちぎ
- 5月15日 第11回おひさまセミナー講演会
- 5月22日 平成16年度
第1回おひさまサポートプログラム
- 6月5・6日 大平町「ふれあい健康福祉まつり」参加
- 6月19日 第12回おひさまセミナー講演会
- 6月26日 第2回おひさまサポートプログラム
- 7月18・19日 宿泊親睦会
とちぎ海浜自然の家

などなど今年度も盛りだくさんです。

※『おひさま通信』は栃木県小山市にある【株式会社エマール】から
のご寄付により作成いたしました。

【株式会社エマール】のホームページ <http://www.emar.co.jp>

♪詳しくは
ホームページを
ご覧ください♪

4月17日現在のホームページ
来訪者数 93,250人です

発 行 特定非営利活動法人 おひさまクラブ
代表理事 五百部敏行
編 集 おひさまクラブ広報部
事務局 下都賀郡大平町西水代1687-4
0282-43-1240
県央支部 028-638-5812 （増田）

自閉症と発達障害について

自閉症と発達障害については、目に見えない障害だけに一般の方には非常にわかりづらい障害です。

詳細はHPをご覧ください

参考書籍

自閉症のしおり～障害の正しい理解のために～

NPO法人 岡山県自閉症児を育てる会

アスペルガー症候群を知っていますか？

(社)日本自閉症協会東京都支部

自 閉 症

☆ 広汎性発達障害

広汎性発達障害という用語は、WHO（世界保健機関）及びアメリカ精神医学会が正式な診断名として採用しています。（WHOではDCR-10、アメリカ精神医学会ではDSM-VIという診断基準）自閉症とその周辺の障害をひとくくりする診断名として、よく広汎性発達障害という診断が下るようです。しかし、親にとってはどうもよくわからない診断名なので、『広汎性発達障害＝自閉症』と結びつかず、障害受容が遅れてしまうことがあるようです。『自閉症』とはっきり診断名がつく場合と、『広汎性発達障害』とつく場合があり、何がどう違うのかよくわからないのが今の現状だと思います。

広汎性発達障害は、自閉症（小児自閉症）、非定型自閉症、レット症候群、アスペルガー症候群など8つの診断に分かれ、症状と経過ではっきりと区別されますので、途中で診断名が変わらない（例えば自閉症からアスペルガー症候群）という立場をとっています。この辺は、発達障害臨床における言葉の混乱があるようなので、疑問に感じた場合は主治医から詳しくお話を聞いた方がよろしいかと思います。

☆ 自閉症スペクトル障害

自閉症の症状を「あるか、ないか」でとらえるのではなく、「どのくらいあるのか」という考え方です。自閉症スペクトル障害の片方の極を典型的な自閉症（カナータイプ）とし、もう片方の軽症の極をアスペルガー症候群（アスペルガータイプ）と呼んでいます。自閉症とアスペルガー症候群の境も、アスペルガー症候群と正常の境も曖昧であってないようなものと考えられています。

注意しなければならないことは、広汎性発達障害の中でいわれるアスペルガー症候群と、自閉症スペクトル障害におけるアスペルガー症候群は、同じ用語を使われながらも基準が違います。

☆ 古典的自閉症（カナータイプ）

1. 他者との情緒的接触の重篤な欠如
 2. 物事をいつも同じままにしておこうという欲求
 3. 物に対する強い関心と物を器用に扱うこと
 4. 言葉はないが、あったとしても、オウム返しや他者には通じない独特の言葉を作ってしまうなど、コミュニケーションに役立たない言葉の使い方
 5. 知的な顔立ち、カレンダーの計算など特殊な領域での優秀な能力
- 以上の5項目の診断基準によって、判断されます。



☆ 自閉症の特徴

- ◇ ミニカーをひっくり返して、車輪を回すことに夢中になったり、てのひらをヒラヒラさせて指の合間から見える光景を楽しんだり、くるくる回ったり、奇妙な遊びや行動をしている。
- ◇ 行動の制止がきかず、いきなり車道へ飛び出そうとしたり、あまりの行動の唐突さに母親はいつも子どもに振り回されている。
- ◇ 扇風機や換気扇、とにかく回るものが大好きで、何時間でもあきずにずっと見ている。
- ◇ 話しかけられても、聞こえているのかいないのか、表情がほとんど変わらず、無視されてしまうことも多い。
- ◇ カレンダーの日付や図鑑などの暗記は抜群で、“天才児か”と期待させられるも、子ども同士の会話がまるでできない。
- ◇ 計算や暗記物の勉強はとてもよくできるのに、友だちが怒っているのか楽しんでいるのかといったことがわからない。また、文章問題はとても苦手である。

・・・などなど

高機能自閉症とアスペルガー症候群



☆ 高機能自閉症

学会で承認されたような定義はありませんが、IQ 70 以上の場合を指しています。注意しなければならないことは、「高機能」といっても「能力が平均より高い」のではなく、「明らかな知的の遅れがない」という意味で、IQ 70 台の子ども達は、小学校普通学級の教育課程をこなすことが難しいとされています。

☆ 高機能広汎性発達障害

ICD-10及びDSM-IVの広汎性発達障害の基準を満たし、知的障害のない場合をさすことが多いと言われています。



☆ アスペルガー症候群

◎ ICD-10及びDSM-IVのアスペルガー障害

コミュニケーションの発達や認知の発達に障害がなく、社会性の障害ないし反復的行動がみられる場合に下されます。

◎ 自閉症スペクトル障害におけるアスペルガー症候群（アスペルガータイプ）

カナーの自閉症の定義を厳密に満たさないが、社会性・コミュニケーション・想像力の3領域に発達早期から障害を持つ子ども達のことを言います。

☆ 特徴

- ◇ スーパーのレジに並んでいるとき、前にいる太った婦人に対して「あのおばさん太っているね」と大声で素直に言ってしまう。
- ◇ 家庭での会話（近所の悪口など）を近所のおばさんに話してしまう。また友だち同士の秘密の話を、先生に聞かれて素直に答えてしまう。
- ◇ 自分の思い通りに遊んでいるときは、友だちとも遊べるが、自分の思い通りにならなくなると、途端にかんしゃくを起こしたり、集団から離れて1人で遊んだりする。
- ◇ 「昨日は何をしていたの？」と尋ねられて、「朝7時に起きて、着替えをして。7時10分には洗面所の前で顔を洗い・・・」と細かく一日の自分の動きを答えてしまう。
- ◇ ことばの使い方が奇妙。例えば「そんなことをしたら、ていへんじゃねえかと思いますので私はいたしません」とか単純に「やめて」と言えばいいところを「それは言語道断だから断固拒否をいたします」とか言ってしまう。

・・・などなど



おひさポ16年度参加希望者説明会のご報告

おひさまサポートプログラムも2年目が終わりました。今までいろいろ試行錯誤しながら行ってきましたが、16年度の参加希望者を対象に、3月13日（土）大平町ゆうゆうプラザにて筑波大学心身障害学系講師 野呂文行先生をお迎えし、応用行動分析（ABA）の基本的な考えや療法についてのお話をしていただきました。（参加者30名）

今年度から、親御さんに講義を受けていただき、その後セッションを行う形式になります。応用行動分析（ABA）の基本的な考えや療法について、講義を受けながらその場で自分の子どもに置き換えて考えるようにしていきます。

今後も親御さん自身が、お子さんに身につけてほしい行動を指導したり、お子さんの困った行動に対応したりするための指導の方法について学習してもらうことを目指します。系統的な学習を通して、親御さんも自分のお子さんに対して優秀な指導者になりうることを過去の実践で明らかになっているからです。

本プログラムでは、お子さんに必要とされる援助を親御さんが適切に行えるようになるために応用行動分析学（ABA）について基本的な考え方を学び、実際の指導テクニックを身につけることを最終的な目標としていきます。



＜今年度定員＞

個別指導＝6名

グループ（小集団）実習＝5名×2グループ



＜参考図書・テキスト＞

『はじめての応用行動分析』

P. A アルバート A. C. トルマン 著 佐久間徹・谷晋二（監訳）：二瓶社

『応用行動分析学入門 障害者のコミュニケーション行動の実現を目指す』

小林重雄（監修）山本淳一・加藤哲文（編）：学苑社

『行動分析学入門』

杉山尚子 島宗理 佐藤方哉 R. W. マロット M. E. マロット 著：産業図書

『自閉症へのABA入門 親と教師のためのガイド』

シーラ・リッチマン 著 井上雅彦・奥田健次（監訳） テーラー幸恵（訳）：東京書籍



フリーマーケット出店のお知らせ

6/5・6 ゆうゆうプラザ周辺にて大平町「ふれあい健康福祉まつり」が行われます。おひさまクラブでは、6日のフリーマーケットを出店し雑貨などの販売をいたします。昨年度のフリーマーケット出店企画の際には、皆様からたくさんの物品をお寄せいただきました。あいにく天候の関係で中止となってしまいましたが、お持ちいただいた品々は大切に保管させていただいておりました。

（今回はその品々を販売いたします）

ご家族・お友達をお誘いあわせの上、お手伝い＆お買い物にいらしてください。

販売によって得た収益は子どもたちとの活動費用などに利用させていただきます。



年会費納入のお願い

年会費 (平成 16年度 平成 16年 4月～平成 17年 3月まで) 3,000円

新規の場合 入会金 2,000円 (別途必要となります)

賛助年会費 (平成 16年度 平成 16年 4月～平成 17年 3月まで)

一口 2,000円より

※年度途中退会された場合でも、会費の返金はいたしませんのでご了承下さい。

『おひさまクラブ』年会費の振込先

足利銀行 栃木支店 普通口座 3358242

口座名義人 特定非営利活動法人 おひさまクラブ 代表 五百部敏行

郵便振替 00140-6-116043

329-4423 下都賀郡大平町大字西水代 168番地 4

特定非営利活動法人 おひさまクラブ

※定例会、総会、講演会、イベント等での納入もできます。

受付にお申し出下さい。

宿泊親睦会参加者募集

毎年恒例となりました海浜自然の家での宿泊親睦会の日程が決まりました。

去年はあいにくの天気で“海”を満喫できませんでした。

今年は思いっきり、リベンジしちゃいましょう！！

実施日 平成 16年 7月 18日 (日) 19日 (振替休日) の一泊二日

7月 18日 AM 11時 現地集合予定

(参加される方には、場所の地図をお送り致します。)

場 所 栃木県立とちぎ海浜自然の家 茨城県鹿島郡旭村大字玉田 336-2

Tel 0291-37-4000 (管理棟)

募集人数 70名 (会員・家族のみ)

申込方法 会員の方には、郵送で申し込み用紙を差し上げました。注意事項をご考慮の上、ご希望の方は、申し込み用紙に必要事項を記入し、事務局へご連絡ください。

申し込み期限日：5/15

自閉症に関するセミナー&催し

<マリンバコンサートinとちぎ>

昨年開催された『自閉症カンファレンスNIPPON』のオープニングに演奏された松田ファミリーが栃木県栃木市にいらっしゃいます。
マリンバ演奏者は、現在横浜ポルト能見台へ通所している自閉症の方です。
素晴らしい演奏をぜひ多くの方々に聴いて頂きたく、栃木県へ呼びびいたしました。

日時 平成16年5月9日(日) 午後3時開場
午後3時30分開演

入場料 前売り 1500円 当日 1800円

場所 栃木市文化会館大ホール 栃木市旭町12-16
0282-23-5678

演奏 松田ファミリー他

主催 自閉症と発達障害児者へのサポートグループ
特定非営利活動法人 おひさまクラブ

共催 栃木市

後援 栃木県・栃木県社会福祉推進議員連盟・栃木県教育委員会・
栃木市教育委員会・大平町・大平町教育委員会・栃木県NPO協会・
下野新聞社

各地域の会員さんがチケットを持っていますので、ご連絡くだされば
ご紹介いたします。

<おひさまセミナー>

【第11回】

「自閉症スペクトラムをめぐる諸問題」

講師：京都市児童福祉センター **門 眞一郎先生**

日時：平成16年5月15日(土) 午後2時より

場所：大平町健康福祉センター ゆうゆうプラザ大会議室

【第12回】

「自閉症の人の暮らしと育ちを支えるために」

講師：『アメリカ障害児教育の魅力』の著者

佐藤恵利子さん

日時：平成16年6月19日(土) 午後3時より

場所：大平町健康福祉センター ゆうゆうプラザ大会議室

第108回国際治療教育研究所セミナー

知られざる自閉症の障害

(A Matter of Attention)

2004年5月29日(土)・・・東京：科学技術館サイエンスホール

2004年5月30日(日)・・・大阪：オーバルホール

〔講師〕： ウェンディ・ローソン先生

〔コーディネーター〕：

内山 登紀夫 先生

よこはま発達クリニック院長・大妻女子大学助教授(東京)

杉山 登志郎 先生

あいち小児保健医療総合センター診療科部長・保健センター長(大阪)

東京日程： 2004年5月29日(土)

東京会場： 科学技術館サイエンスホール／東京都千代田区北の丸公園2-1

電話：03-3212-8485

参加費： ¥13,000 (テキスト代含)

第109 回国際治療教育研究所セミナー

TEACCH プログラム

- 学校教育から成人・就労支援への移行と余暇活動 -

2004年7月27日(火)・28日(水)・・・東京：科学技術館サイエンスホール

2004年7月29日(木)・30日(金)・・・大阪：オーバルホール

〔講師〕：マイケル・チャップマン先生

Director of Supported Employment, The University of North Carolina at Chapel Hill
ジイナ・チャップマン先生

Former Director of the Residential Program at Division TEACCH's Carolina and Living Center and Director of the Autism Society of North Carolina's Creative Living Program

〔コーディネーター〕： 佐々木 正美 先生 / 川崎医療福祉大学医療福祉学部教授

梅永 雄二 先生 / 宇都宮大学教育学部教授(28日のみ)

東京： 2004年7月27日(火)、28日(水)

会場： 科学技術館サイエンスホール／東京都千代田区北の丸公園2-1

電話：03-3212-8485

参加費： 2日間¥23,000 (テキスト代含)

(1日だけの参加¥13,000ー)

＜問い合わせ 申し込み＞

国際治療教育研究所(国治研) <http://www.iiet.co.jp/>

〒107-0052 東京都港区赤坂2-21-15 赤坂OSビル 階

電話：03-3586-3240 FAX：03-3505-2959

E-mail：semi@iiet.co.jp



平成 15 年度も怒濤のような動きになりましたが、いろいろと理事の皆様や会員の皆様のご協力を賜り、無事活動を行うことができました。この場を借りてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。昨年度は 4 月に神奈川県海老名市わかば学園園長の諏訪利明先生、6 月におしまコロニー星が丘寮長の寺尾孝士先生をお招きし、講演会を行いました。7 月に宿泊親睦会をとちぎ海浜自然の家で行い、多くの会員の皆様の参加がありました。また、おひさまサポートプログラムも 2 年目を迎え、試行錯誤を繰り返しながら、筑波大学心身障害学系野呂研究室の支援を受け、無事 年間行えたことをとても喜ばしく思っております。会員も講演会等が少なかったにもかかわらず、だいぶ入会希望があり、おひさまクラブもそれなりに地域に認められてきたのかなと思っております。私たちの活動とともに、栃木県などの行政機関や他の親の会の活動が活発になってきたことも嬉しいかぎりです。宇都宮大学に就労支援の専門家である梅永雄二先生がいらっしゃったことも、栃木県が変わる大きな弾みになると思います。

また、『おひさまクラブ』が栃木県の発達障害児等支援体制検討会に加われたということは、とても大きな意義があります。全国組織の親の会に加盟していない地域の一団体が、県の施策に加わるということは、私たちの目ざしている活動や思いが、一団体の利益だけではなく、全体を見据えた活動を行っていると評価された結果であると思います。今後も我が子のみならず、多くの子どもたちにとって過ごしやすい環境整備にと活動の幅を広げていきます。

今、県におきましては「自閉症・発達障害支援センター」や宇都宮市では「こども療育センター」が設置される方向で動いております。非常に素晴らしいことです。どうかこれらの施設がハードだけでなくソフトの部分の整備に力を入れていて頂けたらと思っています。ご存知のように、この栃木県において自閉症や発達障害の専門家は、本当に数が少なく、これから養成していかなければならない現実があります。先進地域の横浜から比べれば、本当にまだまだです。ですから、最初から 100% を望んでも難しいと思います。皆様が望んでいる状況に比べれば、10%、20% の状況でのスタートかもしれません。しかし、行政のなんとかしていこうという姿勢は共感するものがあり、私たちは全力で応援していこうと思っております。

それから、なんといっても栃木市が注目です。市長に理解があるとどのような施策が展開していくのか、どうそこれからも注意して見守ってほしいと思います。『おひさまクラブ』も連携を密にして、福祉トータルサポートセンターの実現に向け、力を注ぐつもりであります。

また、特別支援教育の動向も気になるところであります。地域格差が出るのは間違いないと思いますので、きちんと言うべきところは言って、教育の現場を守っていきたくて考えています。

今年度はおひさまクラブ初のイベントである『マリンバコンサート IN とちぎ』を始めとして、5 月 15 日、6 月、11 月と講演会を企画しています。また、今まで勉強会や保護者の交流をメインとして活動してまいりましたが、今年度から家族参加のレクリエーションも企画していきます。会員の皆様の積極的な参加をお願いします。

私は、この『おひさまクラブ』に集う会員の皆様の子どものみならず、自閉症及び発達障害者の地域社会での自立・半自立を目ざして行けるようにと考えています。さまざまな子どもたちの個性に合わせ、オーダーメイドの支援が行えるようにしていきたいと思います。そのために今やるべきことをコツコツと積み上げていきたいと考えていますので、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

『ママの会in宇都宮』のご報告

3月6日(土) JR宇都宮駅西口「月のうさぎ」にて、お食事会をいたしました。参加して下さった19名のママさん方、ありがとうございます。残念ながら参加できなかった方、また開催しますので楽しみにしててくださいね(次回は県南で開催かなあ)。それから、お子さんを見ていて下さったパパさん方に心から感謝いたします。お陰で楽しく過ごす事ができました。

子どもの事で“もんもん”としていた気持ちも、このひとときでかなり解消できました。ママさん達からパワーをもらい、明日からまた頑張るぞ〜!と意気込めるのも、ママの会の良さではないでしょうか。定例会の時とは又違ったみなさんの一面を見せていただき、嬉しく思います。

最後に、今回段取りが遅く大変ご迷惑をおかけしました事をお詫びいたします。

今回の幹事より

= メモ =

『ママの会』・・・会員の母親限定で食事をする会。(年に1〜2回開催)

『おやじの会』・・・会員の父親限定で食事をする会。(年に1〜2回開催)

第38号は7月発行予定です。